OPEN ACCESS WEEK 2022

International Open Access Week 24_{MON}

オープンアクセスとは

論文等の研究成果をインターネット上で公開し、誰でも無料で自由に利用できるようにすることです。研究成果の可視性が高まり、成果活用の促進につながるとも言われています。研究成果をオープンアクセスにすることで、学術研究の発展やより良い社会の実現に向けた貢献ができます。

東京学芸大学附属図書館での取り組み

附属図書館では、オープンアクセスのための取り組みとして「東京学芸大学リポジトリ」での論文公開を進めています。

さらなる学術情報のオープン化として、教育・研究活動成果や図書館所蔵 資料のデジタル公開にも取り組んでいます。

オープンアクセスウィークとは

世界中で毎年10月に行われているオープンアクセスへの関心と議論を深めるためのイベントです。2022年は「気候正義のためのオープン化(Open For Climate Justice)」をテーマとして、気候変動危機におけるオープンアクセスの役割に焦点をあてた活動も行われています。

このポスターに関する問い合わせ先:

オープンアクセスウィーク

OPEN ACCESS WEEK 2022

東京学芸大学リポジトリ

東京学芸大学における教育研究成果の収集・蓄積・発信を行うシステムです。『東京学芸大学紀要』の論文や東京学芸大学の学位論文、本学所属者 が執筆した論文等を公開しています。

論文等のコンテンツ登録を希望される際には、お気軽にご相談ください。





東京学芸大学教育コンテンツアーカイブ

本学で作成した現職教員のための研修動画コンテンツ、図書館所蔵資料のデジタル画像(「往来物」「明治期教科書」「絵双六」)、キャンパスの風景を捉えた写真コンテンツ、大学や師範学校の歴史に関する画像や写真コンテンツ等を公開しています。



